

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 事業計画書

活動名	中小企業振興条例実践サミット	
部会名	中小企業振興条例実践サミット	
部会長・副部会長名	和田寿博 瀧上悟	
代表団体名	中小企業振興条例実践サミット実行委員会	
構成メンバー	実行委員会：松山市中小企業振興円卓会議委員 オブザーバー：講師等 協力：松山市	
活動詳細	現状・課題	松山市は平成26年4月、中小企業振興基本条例を施行し、コロナ禍や物価高騰、人不足などの難問、ダイバーシティやDXの推進等にと取り組む、幸せ実感都市まつやまを目指してきた。令和6年には松山市中小企業等実態アンケート調査を実施して現状・課題・問題点等を把握し、令和7年3月には中小企業振興計画を策定する予定。 本専門部会は松山市中小企業振興を目指し、実態調査と振興計画の理解促進を図る。
	活動内容	下記の中小企業振興条例実践サミットを開催する。  行事：中小企業振興条例実践サミット 日程：令和7年7月24日（木）または29日（火） 会場：愛媛大学 主催：松山市中小企業振興円卓会議 共催：松山市 次第： 開会挨拶 来賓挨拶 松山市長 愛媛大学学長  第1部：令和6年度松山市中小企業実態調査の課題 司会：和田・瀧上 講師：地方自治研究機構（山本） IRC（菅） 他大学識者  第2部：パネルディスカッション 司会：和田・瀧上 パネリスト：円卓会議委員（数名）  宣言採択 閉会挨拶
	事業期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
	事業費	350,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	【1】中小企業振興基本条例実践サミット1回 参加者：対面100人、遠隔100人。広報3000人。報道数点。  【2】効果 (1) 中小企業振興基本条例の実践。特に令和6年度松山市中小企業等実態アンケート調査および中小企業振興計画（令和7年3月）の理解促進。 (2) 行事参加者にアンケートを実施し理解の把握と対策を検討する。 (3) 行事を円卓会員が運営する。	

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
松山市	350,000 円	
	円	
	円	
	円	
合 計	350,000 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
報償費（外部識者）	160,000 円	講師謝礼：80,000円×2人
報償費（パネリスト）	40,000 円	パネリスト謝礼：5,000円×8人
印刷製本	50,000 円	サミット資料等印刷代 一式（1,000枚）
使用料及び賃借料	50,000 円	会場使用料：30,000円×1回。看板使用料：20,000円
人件費	50,000 円	行事運営補助員謝礼：25,000円×2人
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	350,000 円	

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 事業計画書

活動名		働きやすい職場づくり実践事業
部会名		健康経営推進部会
部会長・副部会長名		部会長 瀧上 悟
代表団体名		公益社団法人 松山法人会
構成メンバー		-
活動詳細	現状・課題	統計によると65歳から74歳も生産年齢人口に含むこととした場合、2050生産年齢人口は、全体の約66%になり2023年度より高い割合となる。更なる人手不足が予想され、女性活躍推進や外国人の受入れ、業務効率化に関する取組みが進むなか、技術やノウハウの維持、採用コスト削減、顧客維持のため定年延長等により人手を確保しようという動きがある。また、全世代で、より優秀な人材を確保し、その継続的な確保、パフォーマンス向上につながる施策の整備が不可欠と考える経営者が増えてきていることから、経営的な視点で支え、戦略的に働きやすい職場づくりを実践する「健康経営」への取組みを支援していきたい。
	活動内容	<p>1. 健康経営アウトリーチ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営の取組みを支援し、2026年度「健康経営優良法人」認定（経済産業省）を目指す。</li> <li>○対象企業 支援企業 5社×4回以内</li> <li>○2026年度「健康経営優良法人」申請事業所数 2社以上</li> <li>○中小企業診断士や社会保険労務士などの専門家複数名で担当し個別支援する。</li> <li>⇒想定される支援メニュー</li> <li>基本方針の策定、アンケート調査・ヒアリングによる課題抽出、制度・実施計画づくり、評価改善</li> </ul> <p>2. 健康経営導入セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営に取り組む事業所の掘起しを目的にセミナーを実施する。</li> <li>○年2回 20名程度/回</li> <li>○うち1回は年度後半（上記申請事業所が申請を終えた時期に実施し、取組事例等の共有も行う）</li> <li>○健康経営に積極的に取り組む企業、取組みたい企業、学生</li> </ul> <p>3. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供</p> <p>「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用</p> <p>(1) 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」：一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業のみが参加できるグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒健康経営に積極的に取り組む企業を積極的に登録推進</li> </ul> <p>(2) えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大からの要請依頼を受け、登録企業に情報発信する。</p>
	事業期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
	事業費	1, 5 2 7, 0 3 9 円
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	<p>1. 健康経営アウトリーチ支援 5社</p> <p>2026年度「健康経営優良法人」申請事業所数 2社以上</p> <p>2. 健康経営導入セミナー 年2回開催 20名以上/回</p> <p>3. 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の登録企業数 10%増</p>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要（積算基礎等）
活動費	1,400,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
法人会負担	127,039 円	
	円	
合 計	1,527,039 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要（積算基礎等）
人件費	562,500 円	日給7,500円×250日×1名×0.3（業務按分割合）
人件費	90,000 円	法定福利費×1名×0.3（業務按分割合） （雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出（概算））
人件費	14,760 円	通勤手当 4,100円×12ヶ月×1名×0.3（業務按分割合）
旅費	22,200 円	訪問による車両交通費（@37×50km×12ヶ月）
報償費	240,000 円	セミナー講師 20,000円×2回 専門家派遣 1事業所1回 5,000円×4回×5事業所×専門家2名
需用費	104,545 円	チラシ作成費用等
需用費	120,000 円	消耗品費 10,000円×12ヶ月
使用料及び賃借料	20,000 円	会場費 10,000円×2回
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代 16,000円×12ヶ月×0.3（業務按分割合） 事務所費 8,920円×12ヶ月（実績算出）×0.3（業務按分割合） 光熱費 15,000円×1名（実績算出）×0.3（業務按分割合）
使用料及び賃借料	120,000 円	郵便料、電話料 10,000円×12ヶ月
消費税	138,822 円	消費税10%
合 計	1,527,039 円	

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 事業計画書

活動名	女性管理職が少ないのは女性の意識が低いから？ ～地域と首都圏、性別での勤労意欲と成長意欲を調査～	
部会名	(仮称)女性活躍推進部会	
部会長・副部会長名	部会長 堀田 真奈	
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
構成メンバー	—	
活動詳細	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代女性の県外流出を愛媛県も喫緊の課題と捉え、女性に関する事業が増えている</li> <li>・IRC調査（2022年：県内企業における女性管理職登用の現状と課題）において、女性管理職登用が進まない理由として「管理職を目指す女性社員が少ない」等、女性側の意識の問題とし「これから女性管理職を育成するには、女性自身の成長意欲を高め、男性管理職の意識変容を促す取り組みが求められる」としている。</li> <li>・パーソル総合研究所「働く1万人の就業・成長定点調査2018」によると、女性社員は管理職意向は低くても「成長意欲が低いわけではない」とされており、この結果を踏まえ、「女性の意欲や意識が低い」という説が本当なのかを検証し、都心部と愛媛での働く人を取り巻く環境のギャップを浮き彫りにする</li> </ul>
	活動内容	<p>&lt;企業で働く男女の働き方に関する課題とやりがい、キャリアアップについての実態調査&gt; データ収集と分析を通じて、女性のキャリア支援や管理職昇進を支援する施策を明確にし、企業内での男女の賃金やキャリア形成の格差解消を推進するための具体的な取り組みを策定することが目的</p> <p>○調査対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20代から50代までの企業勤務者の男女（愛媛県と首都圏の意識の違いを調査）</li> <li>・調査は100人×27グループ(地域・性別・年代・子あり など)=2700人想定</li> </ul> <p>○主な調査項目（仮）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャリアアップへの関心度</li> <li>2. 働くことのやりがい</li> <li>3. 働き方に関する課題、ジェンダーギャップの問題</li> <li>4. 個別インタビューへの協力の可否</li> </ol> <p>○調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット形式およびディープインタビュー ネット上で回答できる様式を用いて、メールやSNSでの呼びかけも行う</li> <li>・個別インタビュー（10名想定） アンケート回答者の中から希望者を募り選定し、対面またはオンラインで実施</li> </ul>
	事業期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
	事業費	1,300,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	<p>①結果をまとめたレポートあるいは提言出す。→紙面やネットで広く公開</p> <p>②円卓会議委員皆様の組織から、結果を踏まえての市の施策や企業での取り組みのアイデアをいただく。（5～10程度）</p> <p>○企業への成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性社員の働き方やキャリアアップに関する具体的な課題が明らかになることで、企業の採用活動や人材定着の指針となる。</li> <li>・男女の成長意欲への具体的な提言が得られ、企業のDE&amp;I戦略の強化につながる。</li> </ul> <p>○働く人への成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の働き方に関する課題や価値を置く条件を再確認する機会となり、キャリアアップへの意識が高まる。</li> <li>・性別等での格差に気づき、意識が喚起され、職場での発言や行動に変化を促すきっかけとなる。</li> </ul> <p>○地域への成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の企業や行政、教育機関が連携して、性別問わず働きがいの持てる環境づくりやキャリア支援のための施策を展開するための基盤が整う。</li> </ul>	

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要（積算基礎等）
活動費	1,300,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
合 計	1,300,000 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要（積算基礎等）
委託料	900,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Yahoo!クラウドソーシングを使用したアンケート</li> <li>・アンケート設計（仮説出し、整理、含）</li> <li>・アンケートの実施におけるサポート</li> <li>・アンケート結果の分析とレポート</li> </ul>
委託料	150,000 円	愛媛新聞IDを使ったアンケートシステムの利用料と伴走
報償費	20,000 円	個別インタビューの謝礼（2,000円クオカード等）×10名
印刷製本費	110,000 円	調査に係るレポート等の印刷
企画管理費	120,000 円	個別インタビュー等の人件費、交通費
	円	
	円	
	円	
合 計	1,300,000 円	

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 事業計画書

活動名	デジタル社会促進事業
部会名	デジタル社会促進事業
部会長・副部会長名	桑波田 健
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、松山ローカル大学
活動詳細	<p>現状・課題</p> <p>2025年度にかけて市内大学にて情報学部・学科等が新設予定。しかし、学ぶ若者が増えても企業が雇用の受け皿を持っていないと、若者たちは県外へ抜け、ますます人口減少が加速する。情報学部で学んだ学生が市内企業で活躍するためには、市内企業、大学、学生、市それぞれの取り組みが必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業⇒事業のデジタル活用をすすめるとともに、在学中の学生との関わり増加、教育支援、都心部企業との採用競争に勝てる取り組みが必要。</li> <li>・大学⇒企業の人材ニーズを把握し、実社会にフィットとして教育が必要。</li> <li>・学生⇒社会において求められることを肌感をもって体験が必要。そのために在学中から企業との関わりをもつ。</li> <li>・市⇒学生が市外に流出しない、企業、大学との仕組みづくりが必要。</li> </ul>
	<p>活動内容</p> <p>市内企業、大学、学生が集まり、今後のデジタル活用、教育、キャリアについて議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●時期 2025年夏～秋頃</li> <li>●場所想定 松山三越E3ホール（定員100名程度）</li> <li>●内容案</li> </ul> <p>15:00～15:15 オリエンテーション</p> <p>15:15～16:15 トークセッション1 「松山市企業は人手不足時代をどう生き残るか」 県外企業経営者、市内企業経営者が登壇</p> <p>16:15～16:25 休憩</p> <p>16:25～17:25 トークセッション2 「これからの地方学生キャリアと教育」 市内企業、大学、学生が登壇</p> <p>17:25～17:40 アンケート、写真撮影等</p> <p>17:40～18:00 交流、閉会 (閉会后、近隣飲食店にて食事含む交流会を実施)</p>
	<p>事業期間</p> <p>令和7年4月1日～令和8年3月31日</p>
	<p>事業費</p> <p>940,000円</p>
<p>活動効果 (想定される調査・検証結果等)</p>	<p>イベント開催回数：1回</p> <p>参加人数：100名（目標）</p>

## 【中小企業振興円卓会議】令和7年度専門部会 収支予算書

### 1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	940,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	940,000 円	

### 2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
委託費	940,000 円	委託先：松山ローカル大学 人件費、印刷費、講師関係費、会場費、チラシ郵送費、 資料印刷費等
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	940,000 円	